

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 潰瘍性大腸炎関連腫瘍におけるエストロゲン受容体の発現について 』

研究機関名 東邦大学医学部

研究責任者 病理学講座 職位・氏名 教授・三上哲夫

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は潰瘍性大腸癌関連癌の発現メカニズムにおけるエストロゲンの役割を明らかにすることを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、エストロゲンを制御することによる大腸癌予防戦略につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

病理診断目的で採取された検体のブロックと臨床情報です。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年4月より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者:2004年4月～2022年1月までに東邦大学医療センター大森病院

消化器外科および内科において、大腸癌や大腸腺腫について外科手術あるいは内視鏡的切除術を施行された方

方 法:病理診断システムから該当症例を抽出します。診療録(カルテ)から抽出したデータも用います。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医学部病理学講座 研究代表者:三上哲夫 役職:教授

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院/東邦大学医学部

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年4月1日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院・病理診断科

職位・氏名 教授・本間尚子

PHS 77292